



2021年11月19日

各 位

会 社 名 地盤ネットホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 新見 輝 夫
(コード番号：6072 東証マザーズ)
問合せ先 取締役
管理本部長 玉 城 均
(TEL. 03-6265-1834)

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開催日時 2021年11月19日16時～16時45分

開催方法 Z o o mを利用したオンライン配信

開催場所 Z o o mを利用したオンライン配信

説明会資料名 2022年3月期第2四半期 決算説明会

【添付資料】

会社説明会において使用した資料

※この書面（添付書類を含む。）は、有価証券上場規定施行規則第427条に基づき、公衆縦覧に供されません。

以上

2022年3月期第2四半期 決算説明会

2021年11月19日

地盤ネットホールディングス株式会社
(証券コード：6072 東証マザーズ)

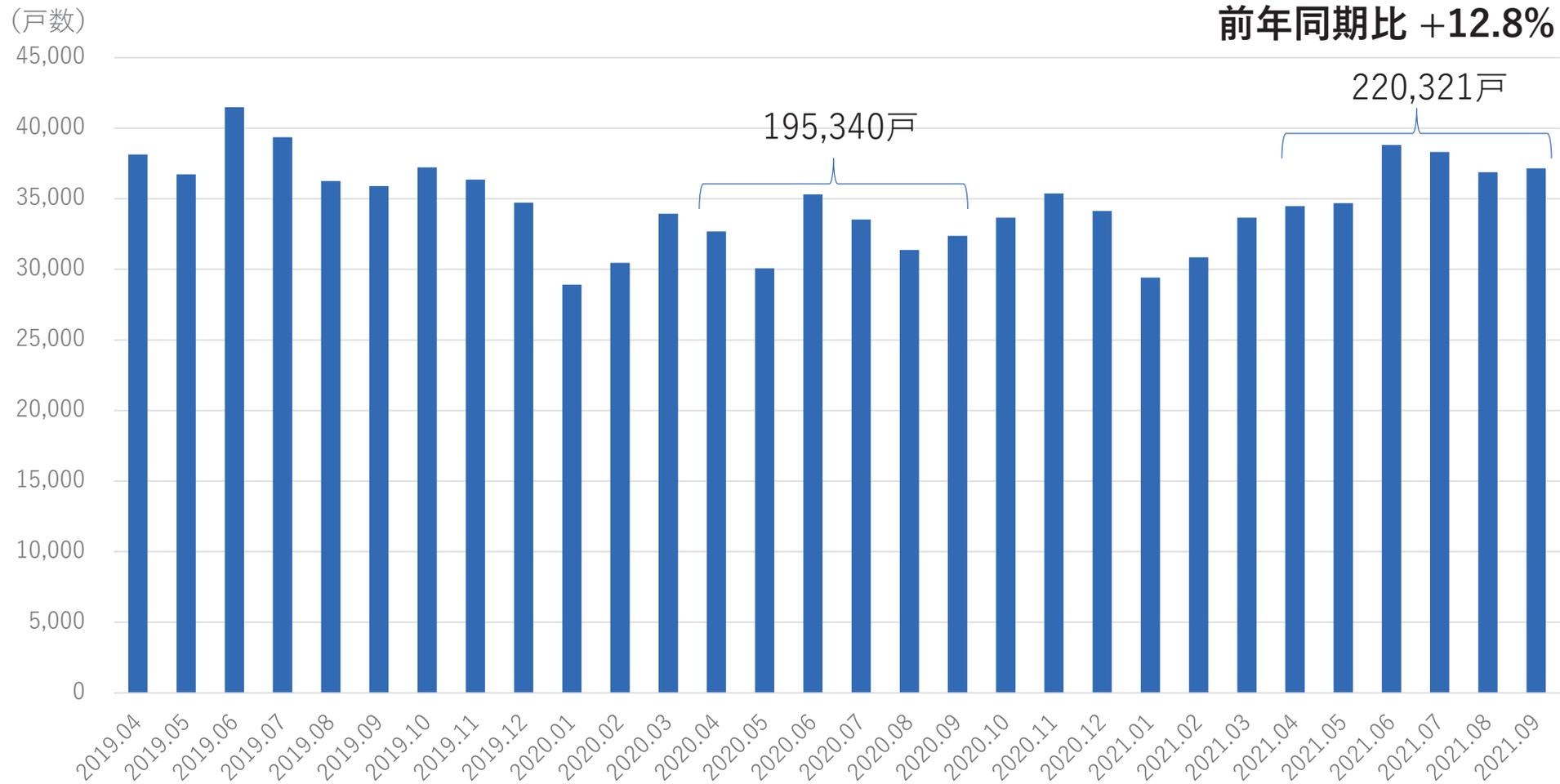
事業環境

2022年3月期 第2四半期 実績

今後の取組

参考資料

事業環境 新設住宅着工戸数推移



出典：国土交通省「建築着工統計調査報告」

※当社グループの事業領域である持家、分譲住宅（一戸建て）を合算して、新設住宅着工戸数としております。

事業環境

2022年3月期 第2四半期 実績

今後の取組

参考資料

【業績予想比】 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2022年3月期 Q2		2022年3月期 Q2		業績予想比	
	業績予想	構成比	実績	構成比	増減	増減率
売上高	1,181	100.0%	1,076	100.0%	△104	△8.9%
売上総利益	444	37.7%	396	36.8%	△48	△10.9%
販管費	407	34.5%	405	37.6%	△2	△0.7%
営業利益	36	3.1%	△8	△0.8%	△45	－%
経常利益	38	3.2%	△8	△0.8%	△46	－%
純利益	28	2.4%	△17	△1.6%	△46	－%

売上高：地盤解析サービスにおいて、競合による単価減少等の影響あり
また、買取再販案件が第3四半期にずれ込んだ

売上総利益：地盤解析サービスに係る保険料率が想定より3ポイント多く増加

販管費：予想とおりに推移

純利益：売上総利益の減少により予想を下回る

【業績予想比】 サービス別売上高

(単位：百万円)

	2022年3月期 Q2		2022年3月期 Q2		業績予想比	
	業績予想	構成比	実績	構成比	増減	増減率
地盤解析	430	36.5%	379	35.3%	△51	△11.9%
地盤調査	281	23.8%	266	24.7%	△14	△5.3%
部分転圧工事	144	12.3%	134	12.5%	△10	△7.0%
BCPO	96	8.1%	92	8.6%	△3	△3.4%
住宅関連	179	15.2%	153	14.3%	△25	△14.4%
その他 ※	48	4.1%	48	4.5%	+0	0.8%
合計	1,181	100.0%	1,076	100.0%	△104	△8.9%

※その他：調査機器やFC加盟料・ロイヤリティ収入、地盤安心マップPRO等の売上

【前年同期比】 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比	
	Q2	構成比	Q2	構成比	増減	増減率
売上高	961	100.0%	1,076	100.0%	+114	11.9%
売上総利益	395	41.2%	396	36.8%	+0	0.1%
販管費	360	37.5%	405	37.6%	+44	12.5%
営業利益	35	3.7%	△8	△0.8%	△44	－%
経常利益	37	3.9%	△8	△0.8%	△45	－%
純利益	22	2.3%	△17	△1.6%	△40	－%

売上高：住宅サービスで買取再販を開始。地盤調査、部分転圧工事、BCPOも同期比で増加

売上総利益：解析サービスの原価上昇により横ばい

販管費：子会社の営業体制見直しを図り人員増等の先行投資実施

純利益：主に販管費増加分、前年同期に比べ減少

【前年同期比】 サービス別売上高

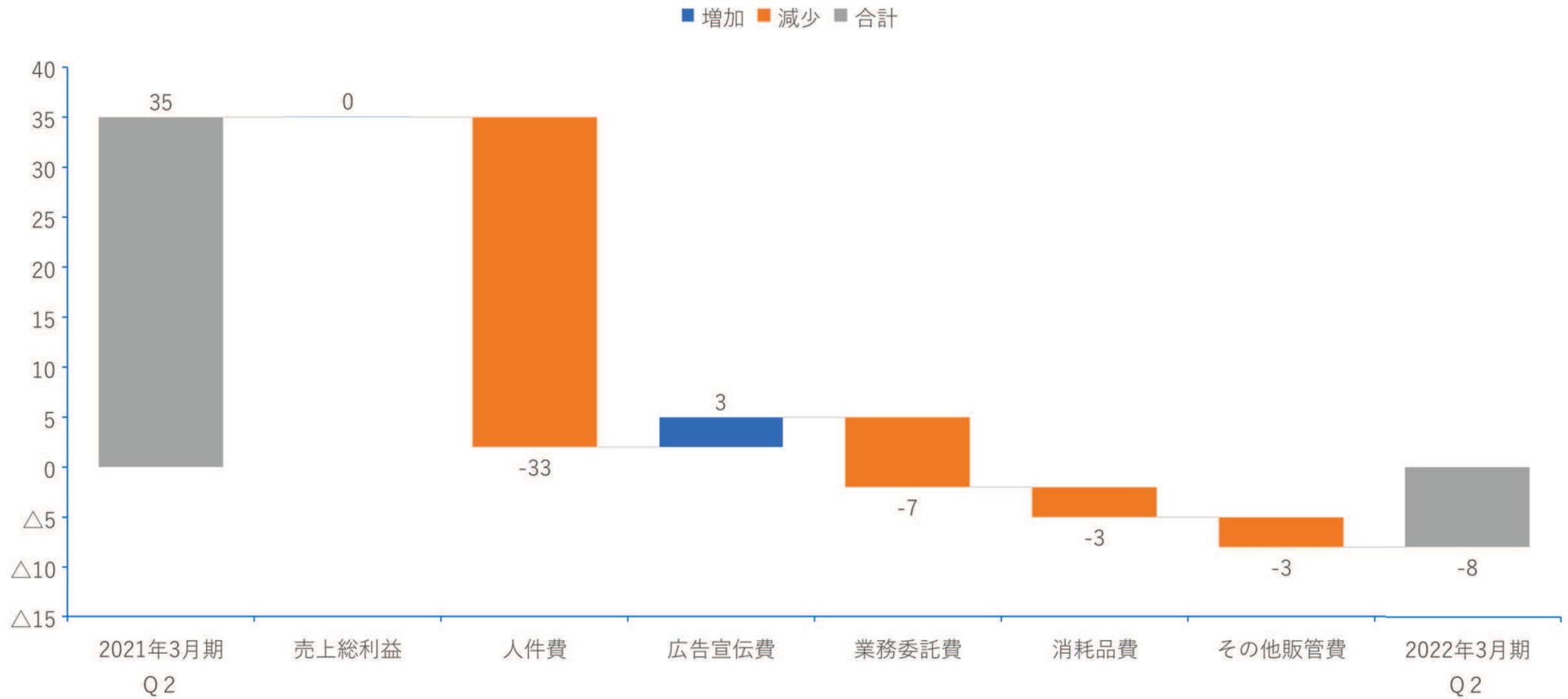
(単位：百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比	
	Q2	構成比	Q2	構成比	増減	増減率
地盤解析	403	42.0%	379	35.3%	△23	△5.9%
地盤調査	243	25.3%	266	24.7%	+22	9.4%
部分転圧工事	107	11.2%	134	12.5%	+26	24.9%
BCPO	37	3.9%	92	8.6%	+55	149.6%
住宅関連	119	12.5%	153	14.3%	+34	28.6%
その他 ※	49	5.2%	48	4.5%	△0	△2.0%
合計	961	100.0%	1,076	100.0%	+114	11.9%

※その他：調査機器やFC加盟料・ロイヤリティ収入、地盤安心マップPRO等の売上

営業利益 増減要因

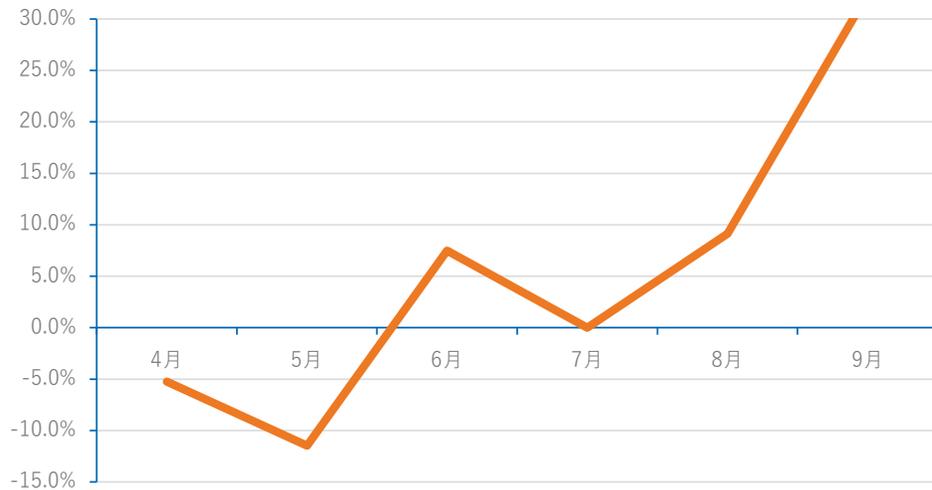
(単位：百万円)



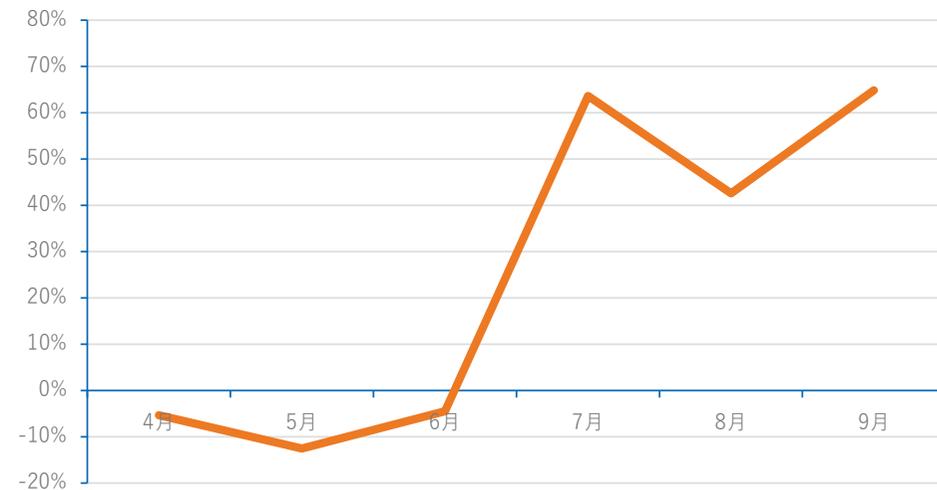
子会社の営業体制見直しを図り人員増等の先行投資を実施。

調査・部分転圧工事・解析サービス件数 前年同月比推移

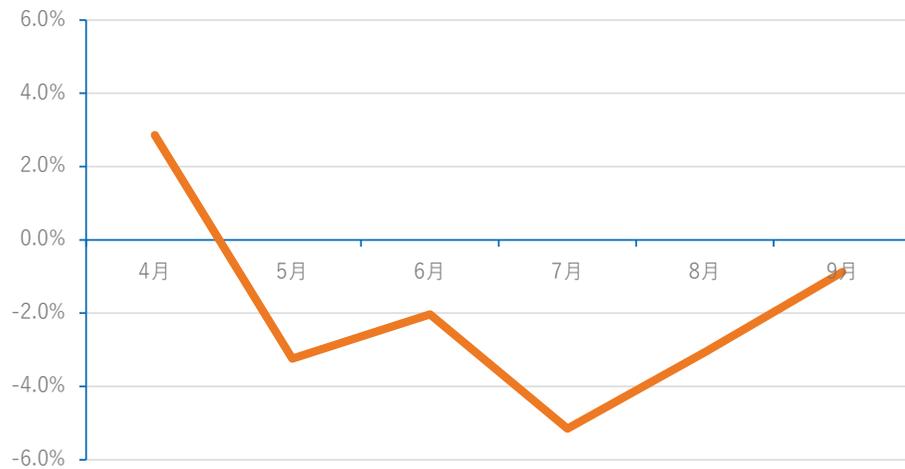
調査件数 前年同月比



部分転圧工事件数 前年同月比



解析件数 前年同月比



サービス内容の品質向上の取組

1. 解析マニュアル改定
2. 調査・部分転圧工事 基準書改定
3. 設計審査マニュアル改定
4. 改良工事設計基準書改定と認定店制度の導入
5. 品質検査実施

連結貸借対照表 前期末比

(単位：百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		前期末比	
	期末	構成比	Q2	構成比	増減	増減率
流動資産	1,573	91.6%	1,596	92.6%	+23	1.5%
有形固定資産	24	1.4%	25	1.5%	+1	7.3%
無形固定資産	38	2.2%	30	1.8%	△7	△20.3%
投資その他の資産	81	4.7%	70	4.1%	△10	△13.1%
固定資産計	143	8.4%	127	7.4%	△16	△11.6%
資産合計	1,717	100.0%	1,723	100.0%	+6	0.4%
流動負債	269	15.7%	285	16.6%	+16	6.1%
固定負債	170	9.9%	170	9.9%	+0	0.4%
負債合計	439	25.6%	456	26.5%	+17	3.9%
株主資本	1,283	74.7%	1,265	73.4%	△17	△1.4%
その他の包括利益累計額	△5	△0.3%	2	0.1%	+7	—
純資産合計	1,278	74.4%	1,267	73.5%	△10	△0.8%
負債・純資産合計	1,717	100.0%	1,723	100.0%	+6	0.4%

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	前年同期比
	Q2	Q2	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	65	107	+42
投資活動による キャッシュ・フロー	△17	△2	+15
財務活動による キャッシュ・フロー	0	△0	△0
現金及び現金同等物の 増減額	48	107	+59
現金及び現金同等物の 期末残高	521	658	+137

(単位：百万円)

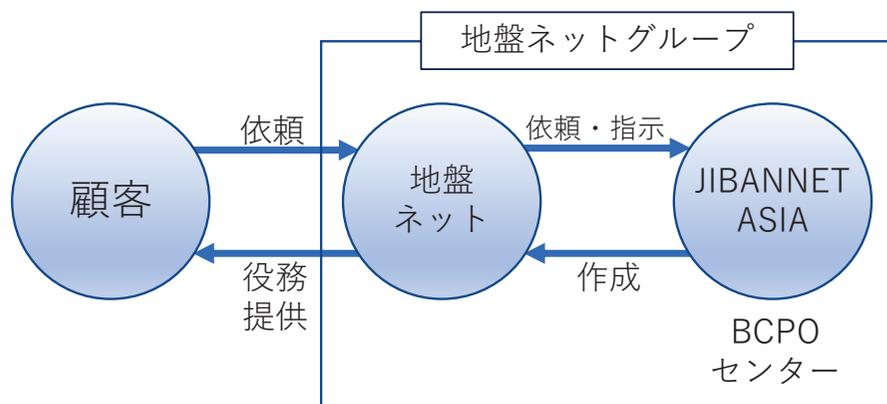
	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 Q2
営業活動による キャッシュ・フロー	357	146	162	86	△58	107
投資活動による キャッシュ・フロー	△64	△41	△128	△306	△23	△2
財務活動による キャッシュ・フロー	△147	△173	△1	△49	161	△0
現金及び現金同等物の 増減額	146	△69	31	△269	77	107
現金及び現金同等物の 期末残高	780	711	742	473	550	658

事業環境

2022年3月期 第2四半期 実績

今後の取組

参考資料



※BCPO：BCP（事業継続計画）と
BPO（業務外部委託）を合わせた造語

【主力商品】

BIMを活用したパース・ウォークスルー動画

完成住宅のイメージをよりリアルに再現した高精細のプレゼン動画を提供。戸建住宅事業者向けに提供開始したサービス。現在は、集合住宅や商業施設等の依頼もあり、今後の主力事業として業務拡大中。

対応可能業務

- ・ データ入力等の営業事務
- ・ 地盤調査報告書や改良工事報告書等の報告書作成業務
- ・ 住宅用CAD図面作成
- ・ BIMを活用したパース・ウォークスルー動画
- ・ ベトナム語翻訳

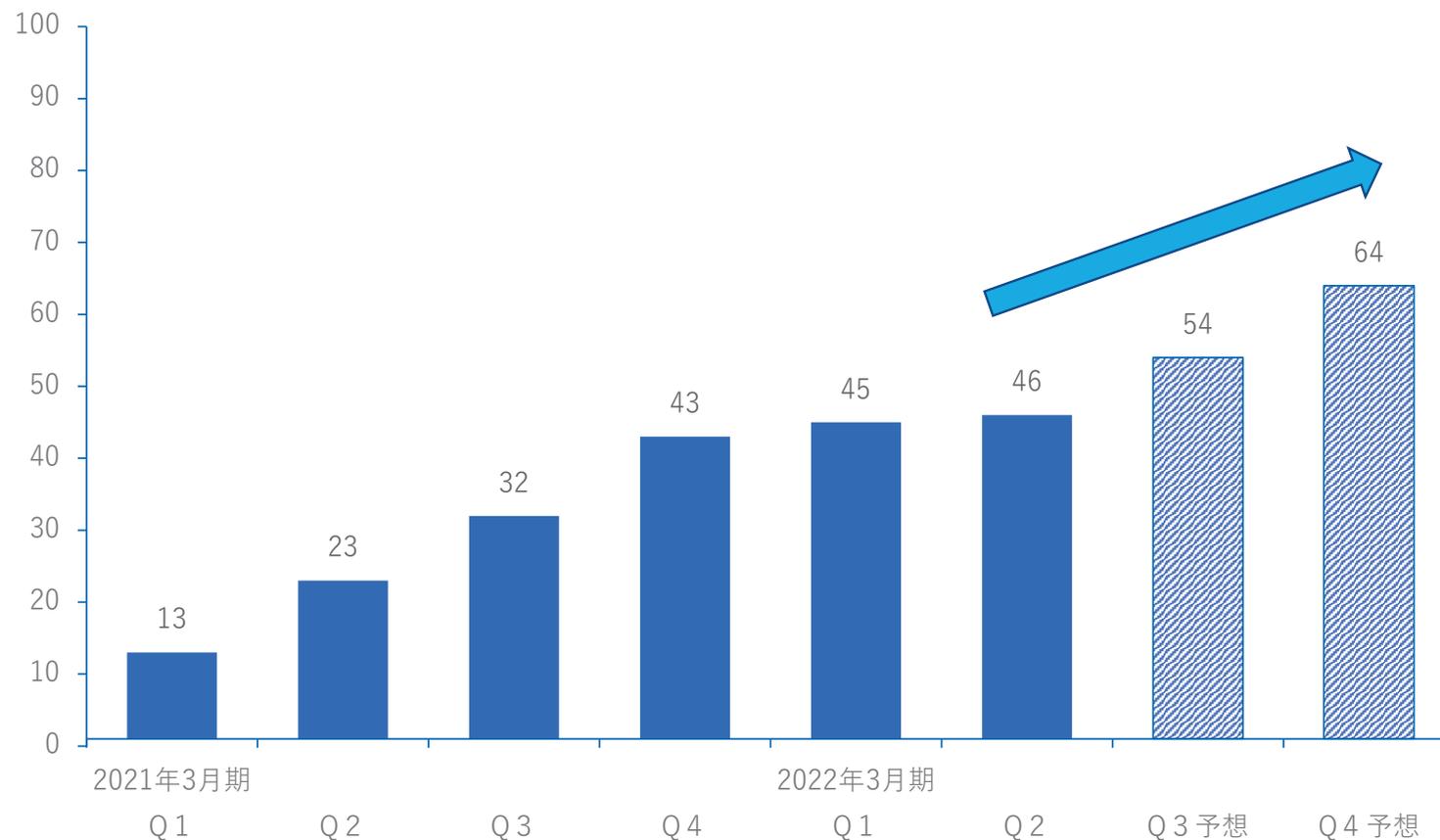
⇒ 上記以外の業務も応相談





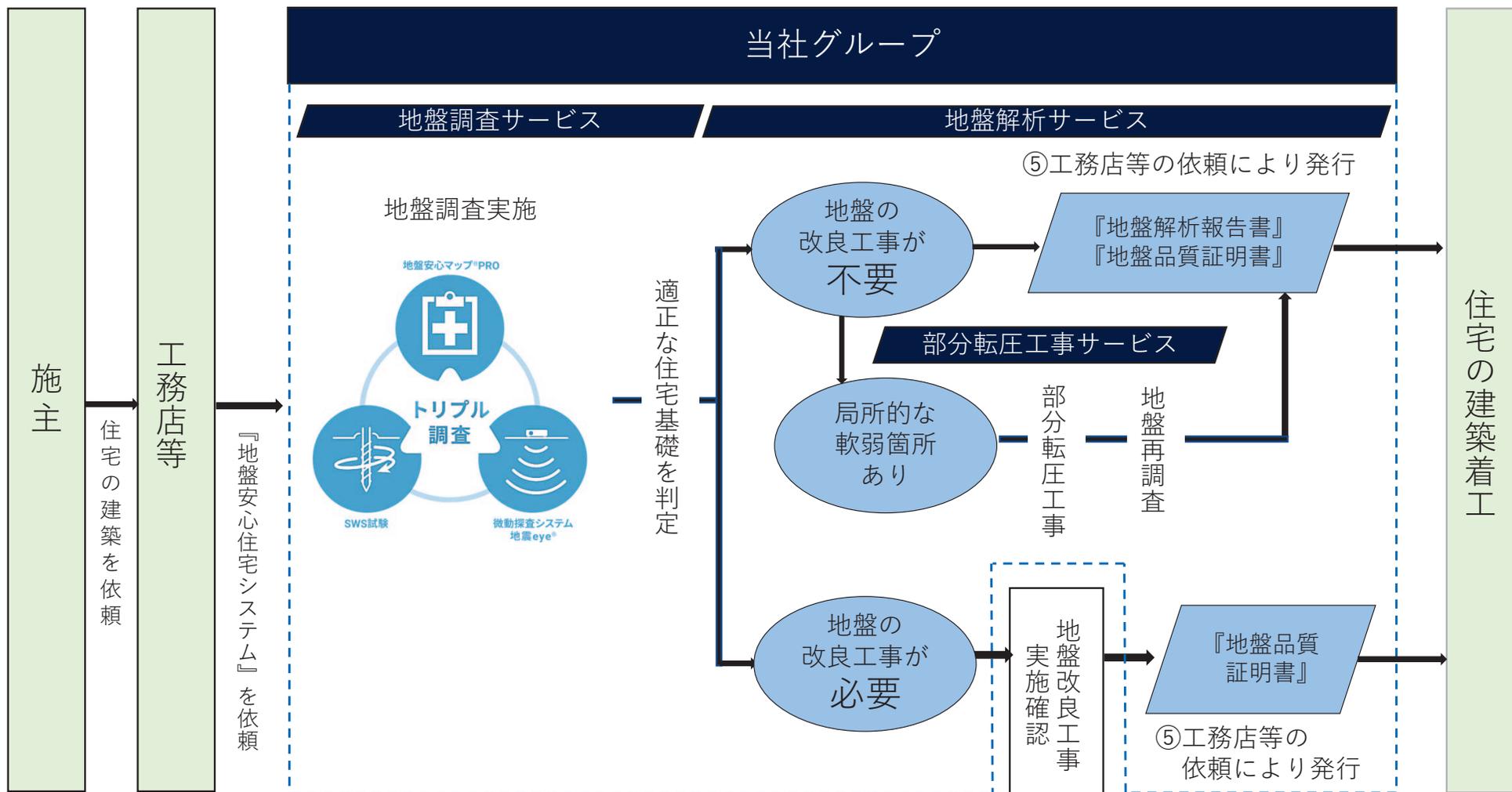
BCPOサービス 売上高四半期推移と予想

(単位：百万円)



2022年3月期 売上高
209百万円

前年比
+85.7%増

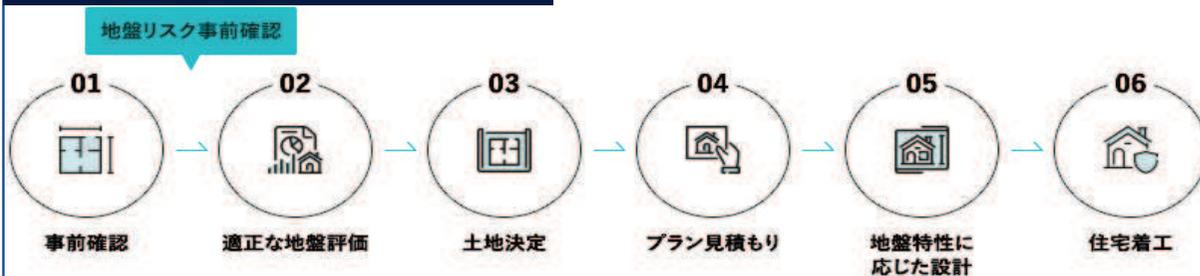


※地盤改良工事は工務店等と地盤改良工事業者間で契約
事前に承認した設計通りに工事が実施されていることを確認し、『地盤品質証明書』を発行

日本の地盤を考えた家づくり JIBANGOO HOMEの「地盤適合耐震住宅™」

JIBANGOO HOMEでは、地盤専門会社ならではのノウハウと地盤の特性を知ることから始まる「地盤適合耐震住宅™」で、地盤調査から設計・補償まですべてを実施する徹底した安全対策により、安心して住み続けられる地震に強い家づくりを追求しています。

JIBANGOO HOMEの家づくり



今までの家づくり



JIBANGOO HOMEでは、地盤リスクを事前確認。後から地盤リスクが発覚し、予想外の費用が発生する心配がありません。

地盤から考える土地選び

安全な土地・地盤選びをサポート

耐震性能、技術力

地盤特性から考え、地震・災害に強い家の設計

イメージをリアルに変える提案力

BIM動画で完成住宅を再現することで、イメージとのギャップを解消

将来を見据えた補償

地盤品質証明書の発行

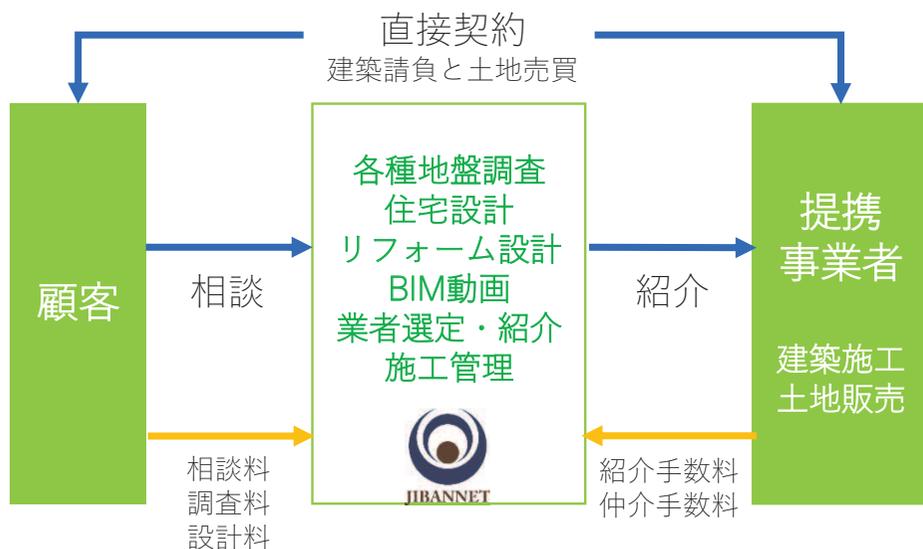
高品質、安心価格

プロセス管理の徹底による質の高い家づくりとモデルルームを持たないことによる費用削減により安心価格でのご提供

※2021年11月1日より「The Ground Hous」から「JIBANGOO HOME（ジバングーホーム）」にブランド名称を刷新しております。

JIBANGOOカウンター

いい地盤の土地紹介と地盤に合わせた安心な設計提案を提供。



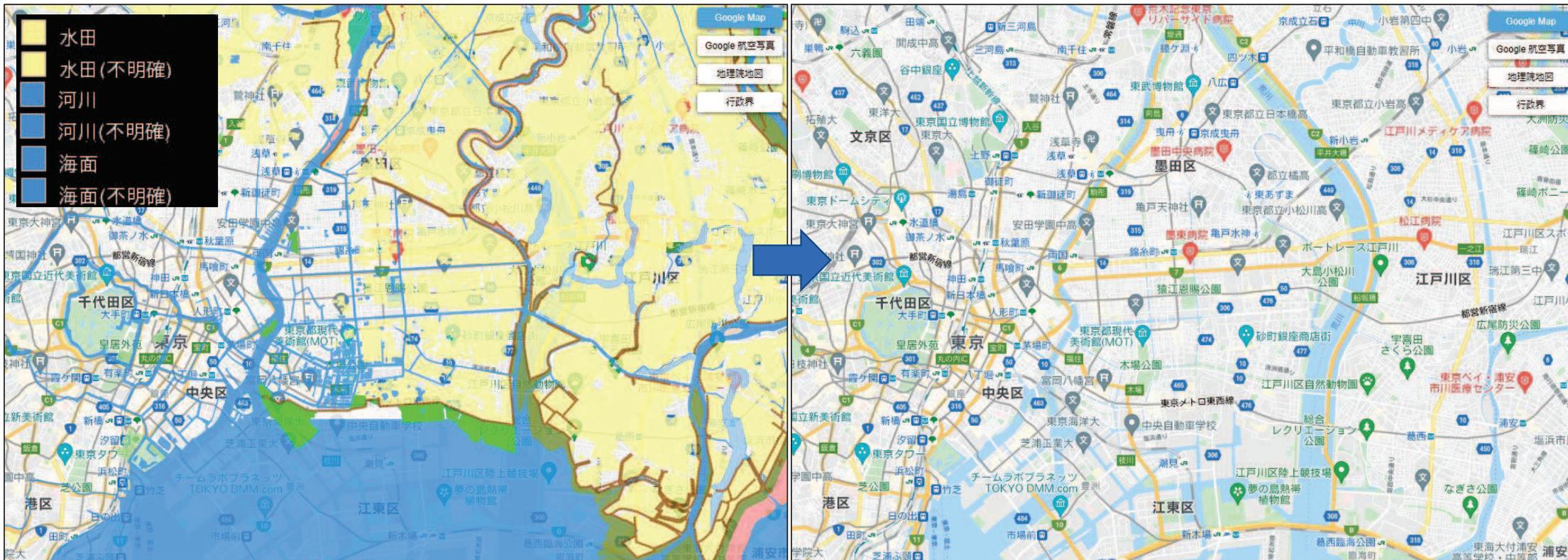
- ①災害に強い土地情報提供／仲介サービス
- ②専門家による過不足の無い耐震設計（産学連携）
⇒認定工務店への施工依頼で全国対応へ
- ③エンドユーザー向けの各種調査／解析技術の提供
建築環境 + 生活環境 + 住宅性能



2021年度いい地盤の日アワード「大賞」に輝いた
飯能市内に、地盤ネット初のコンセプトハウスを建築中！

<https://jibannet.co.jp/jibannet-lp/#>

土地の災害リスクを知るには、土地の履歴を把握する必要がある

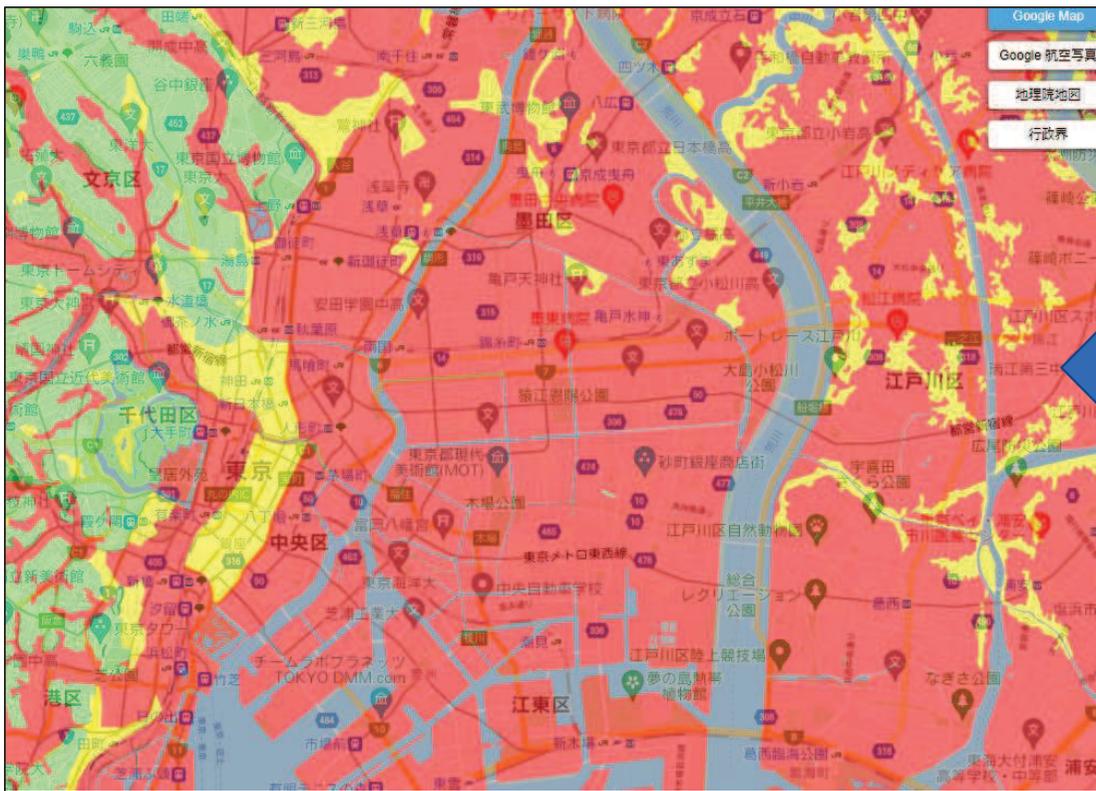


明治前期の低湿地データ

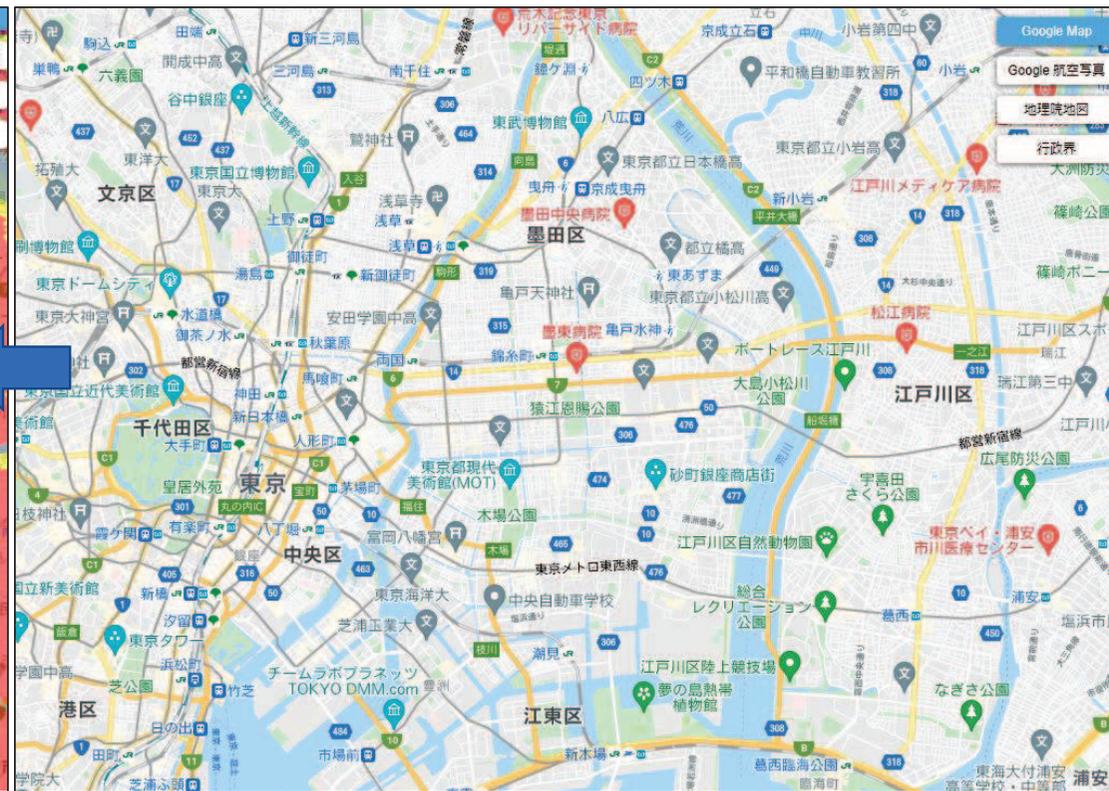
現在の地図データ

明治前期に水田や河川、海面であった場所が、埋め立て・整備され宅地化している。
 このような場所は地盤が水を含んでおり、水害や液状化のリスクが高く、地震時に揺れやすい

土地の災害リスクを知るには、土地の履歴を把握する必要がある



災害リスク色分け表示



現在の地図データ

明治前期に水田や河川、海面であった場所が、埋め立て・整備され宅地化している。
このような場所は地盤が水を含んでおり、水害や液状化のリスクが高く、地震時に揺れやすい



いい地盤



地産地消



住環境が良い



地盤適合
耐震住宅



アフターコロナ
対応住宅



安心防犯力



JIBANGO HOME

～安心で豊かな暮らしを創造する～



コンセプトハウス × 飯能市

連結損益計算書 実績推移と業績予想

(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	
					当初予想	修正予想
売上高	2,673	2,455	2,398	1,989	2,471	2,350
売上総利益	1,325 (49.6%)	1,117 (45.5%)	972 (40.6%)	816 (41.0%)	915 (37.0%)	810 (34.5%)
販管費	1,245 (46.6%)	1,081 (44.0%)	934 (39.0%)	728 (36.6%)	825 (33.4%)	825 (35.1%)
営業利益	79 (3.0%)	35 (1.5%)	38 (1.6%)	87 (4.4%)	90 (3.6%)	△16 (△0.7%)
経常利益	74 (2.8%)	34 (1.4%)	44 (1.9%)	91 (4.6%)	93 (3.8%)	△16 (△0.7%)
純利益	67 (2.5%)	17 (0.7%)	△108 (△4.5%)	△33 (△1.7%)	70 (2.8%)	△33 (△1.4%)

※括弧書きは対売上高比率

事業環境

2022年3月期 第2四半期 実績

今後の取組

参考資料

(参考) サービス別売上高 四半期推移①(単位：百万円)

地盤解析サービス



地盤調査サービス



地盤解析サービス：競合他社、改良工事判定案件の増加、平均単価下落の影響はあるものの、増加傾向に転じた。

地盤調査サービス：新設住宅着工戸数の増加、営業体制見直しに伴い、増加。

(参考) サービス別売上高 四半期推移②(単位：百万円)

部分転圧工事サービス



BCPOサービス

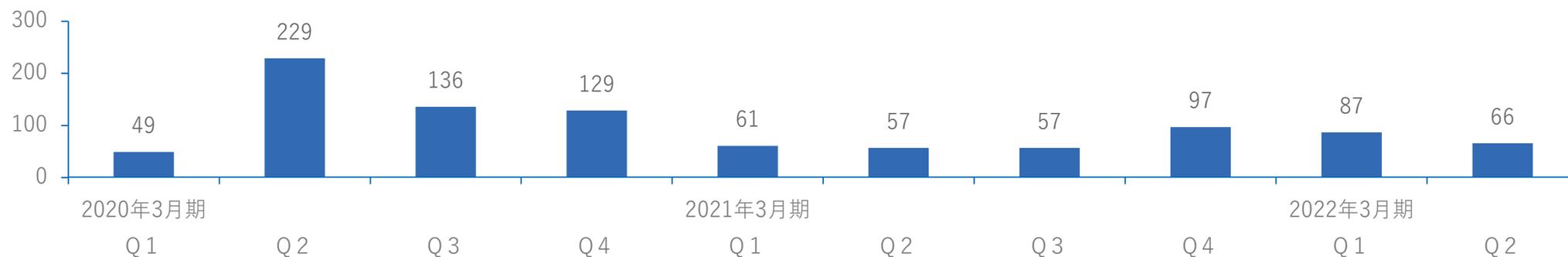


部分転圧工事：調査件数増加に伴い増加。

BCPO：商業施設や集合住宅等、戸建以外の案件も増加。

(参考) サービス別売上高 四半期推移③(単位：百万円)

住宅関連サービス



その他



住宅関連：買取再販を開始し、前年同期比で伸長。

その他：全国のネットワークはある程度構築できているので、FC加盟や調査機器販売がスポットで発生。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が2021年11月19日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。